

# 台風19号から36日目

11/16(土)  
10:30~

## 被災地長野の今と 未来を伝える報告会

参加費:無料

10/12に上陸した台風19号。群馬県内は現在(11/1時点)は災害ボランティアセンター太田高崎閉鎖、富岡一時休止、嬭恋30名程度災害ボランティア募集と多くの尽力あって復旧復興が進んでいる。しかし千曲川の決壊により隣県の長野市では一日1000人の災害ボランティアを必要とする深刻な事態が今も続く。この日を境に生活が大きく様変わりした。食べ物が無い、水が無い、着る服が無いという当時の混乱した状況を抜け、新たフェーズへと物も人も心も課題状況は変化している。日々SOSを発信している声を見逃してはならない。生の情報を共有し、そしてコミュニケーションを図り、自分ができるアクションを見出していきます。それが今も復旧復興に懸命な被災した方々への力になります。来月は12月。長野に雪が降ります。

◆日時:2019年11月16日(土) 10:30~12:30(質疑応答含む)

◆開催場所 前橋市市民活動支援センター(会議室)

前橋市本町2丁目12-1 K´BIX元気21まえばし(前橋プラザ元気21) 3F TEL.027-210-2196

●お車の場合 \*4時間の無料処理あり。駐車券をお持ちください。駐車場は、隣接するK´BIXパーキング元気21駐車場、市営パーク千代田、市営パーク五番街、広瀬川サンワパーキング(城東町立体駐車場)、前橋中央駐車場)

◆お申し込み \*11/15まで

NPO法人Mam's Style (担当桜井) メール:[mamsstyle\\_1025@yahoo.co.jp](mailto:mamsstyle_1025@yahoo.co.jp) 090-6008-3934

前原土武(まえばら・とむ) 災害NGO結代表 \*スカイプでの参加

1978年沖縄県生まれ。美容師、アウトドア添乗員を経て、東日本大震災をきっかけに現職。発災後24時間以内に災害地に駆けつけ、被害の概況の発信や今後必要とされる支援を見立て、復旧・復興期まで幅広くに支援調整業務を行う。団体名である「結」は、出身地沖縄の「ユイマール」(共同作業の習わし)と、自然災害で被害に遭われ困っている方々と、それをサポートしたい方々を少しでも早く繋げる事で未来の笑顔に結び付けてほしいという想いが込められている。



亀垣嘉明(かめがきよしあき)長野県NPOセンター」常務理事

1966年生まれ 1998年長野県に移住、2010年長野市に移住。台風19号災害では、15日より8日間 指定避難所である 長野市北部スポーツレクリエーションパークで個人として物資調達と避難所運営の手伝い。その後は長野県NPOセンター関係者として長野県災害時支援ネットワークの一員として組織的な後方支援チームに加わる他、個人的には長野市北部スポーツレクリエーションパークに引き続き張り付いているボランティアスタッフへの支援をしている。

・2019年6月 中間支援系NPO「NPO法人長野県NPOセンター」常務理事

・2019年7月 NPO、企業、行政等から構成される「ながの協働ねっと」事務局長



<主催/お問い合わせ先>

NPO法人Mam's Style (長野・群馬2拠点で活動)

前橋市青梨子町434-1

HP:[mamsstyle.jimdo.com](http://mamsstyle.jimdo.com)

mail:[mamsstyle\\_1025@yahoo.co.jp](mailto:mamsstyle_1025@yahoo.co.jp)

tel:090-6008-3934